

「今」と「未来」のために、今私たちができること [目標7] エネルギーをみんなにそしてクリーンに

エス・ディー・ジーズ



「誰一人取り残さない」持続可能な社会の実現に向けた世界共通の目標「SDGs」。「今」も「未来」も幸せに暮らし続けるために、今を生きる私たちは何ができるのか。一人一人が「**自分のこと**、」として考え、身近なことから行動していくことが大切です。

7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに



再生可能エネルギー

太陽光や水力、風力などの
資源が枯渇せず繰り返し
使えるエネルギー



- 発電時に二酸化炭素をほとんど排出しないため、環境にやさしいエネルギーです。
- 日本の再生可能エネルギーによる発電割合は全体の2割に満たない状況です。

私たちの生活に電気やガスなどのエネルギーは欠かせませんが、世界では電気を使えない人が約8億人いるといわれています。

日本は、世界で5番目にエネルギー消費が多いものの、自給率はわずか12.1%に留まっているため、国際情勢の影響などによりエネルギーを安定的に確保できなくなる可能性もあります。

また、私たちが主に使っている化石エネルギー（石油、石炭など）には限りがあり、発電時に地球温暖化の原因となる二酸化炭素が発生するため、クリーンなエネルギーとはいえません。

持続可能でクリーンな社会を実現するためには、再生可能エネルギーの普及と利用率の向上に加え、一人一人が日頃から節電などの省エネに心掛けることが大切です。

日常生活でできる取り組み 節電を心掛けよう！

- 照明を小まめに消す
- エアコンの温度を適度に調整する
- 公共交通機関や自転車、徒歩で出掛ける
- アイドリングストップを心掛ける

市の取り組み

- 再生可能エネルギーの導入促進
→市有地や公共施設への太陽光発電設備の整備、リフォーム支援による一般家庭での再生可能エネルギーの導入促進
- 公共施設などの省エネ化
- 公用車の削減と次世代自動車（電気自動車など）の導入